

特別講演

「高齢者の脳と自動車運転」

高知検診クリニック脳ドックセンター長

高知工科大学 地域連携機構 地域交通医学・社会脳研究室 室長

朴 啓彰



高齢者対策が一筋縄ではいかない理由の1つは、高齢者の個人差である。加齢に応じて、個人の行動・活動が大きく制限されるが、個人差が甚だしい。我々は、この個人差が加齢に応じた脳組織変化（白質病変と脳萎縮）に起因すると考えている。白質病変と脳萎縮について一般的な知見を説明し、白質病変と脳部位容積が運転に与える影響を述べる。さらに、白質病変と脳萎縮が広範囲に及んでいる加齢脳の進んだグループはそうでないグループと比較して、実車運転での安全運転パフォーマンスが加齢脳の進んだグループが低下している知見を得た。白質病変と脳萎縮は、飲酒・喫煙等の生活習慣や高血圧や糖尿病な等の生活習慣病と大いに関係している。よって、生活習慣を糺し、生活習慣病を厳格に治療することが、高齢者の安全運転維持（向上）に繋がると考えている。

氏 名 朴 啓彰（ぱく けちゃん）

生年月日 昭和31年6月3日 満65歳

【学歴・職歴】

昭和60年 大阪大学医学部卒業
昭和63年 大阪大学医学部脳神経外科入局
平成元年 大阪大学大学院 医学研究科入学
平成5年 同 博士課程 修了
平成5年 錦秀会阪和記念病院 脳神経外科医員
平成6年 大阪大学医学部脳神経外科 病棟主任
平成7年 同 終了
平成7年 関西労災病院 脳神経外科 医長
平成10年 大阪府立泉州救命救急センター 医長
平成12年 大阪厚生年金病院 脳神経外科 医長
平成13年 高知医科大学付属病院 脳神経外科講座 講師
平成15年 高知大学医学部 脳神経外科講座 講師
平成19年 高知大学医学部 脳神経外科講座 准教授
平成20年 高知検診クリニック 脳ドックセンター長（現在に至る）
平成21年 高知工科大学 地域連携機構 客員准教授
平成22年 高知工科大学 地域連携機構 客員教授（現在に至る）
平成23年 高知工科大学 地域交通医学研究室 室長
平成27年 高知工科大学 地域交通医学・社会脳研究室 室長（現在に至る）

【所属学会】

日本脳神経外科学会・日本認知症学会
日本脳ドック学会・日本頭痛学会
交通工学会研究会・交通科学研究会
自動車技術会

【資格】

日本医師会認定産業医
日本頭痛学会頭痛専門医・指導医
日本認知症学会認定医・指導医

※脳ドックから得られた4万人の健常脳データから、脳萎縮や白質病変（脳の毛細血管のゴースト化）に見られる加齢脳の個人差が高齢ドライバーの安全運転能力に関連することを示してきた。年齢ではなく脳の健康状態で判断すれば、運転免許返納においても、より一層明白な科学的な裏付けに基づく判断基準を示すことができると提言している。